

# 教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8  
兵庫県教職員組合  
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 雄一郎  
編集人 池田啓子  
電話 050(3538)2346  
1部7円 年定価280円  
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2013/7-15

No. 1839

2面

・つないでいこう！  
「同和・人権教育学習会」開催

## 兵教組 第137回定期大会

兵教組第137回定期大会が、6月21日から2日間おこなわれた。向こう2年間の兵教組運動の方針と、当面する具体的なとりくみを決定した。



泉執行委員長



加藤中央執行委員長

大会の冒頭、兵教組の泉執行委員長は2日間の討議の素材になればと、「教育研究活動」、「政策・制度要請実現のとりくみ」、「組織の強化・拡大のとりくみ」について提起し、「兵教組

本部は、教育研究活動の深化・発展、教育予算の拡充、教職員の生活改善、勤務時間の適正化、心の通いあう学校づくり、組織の強化・拡大、東日本被災地支援などに全力でとりくむ」と述べた。

来賓あいさつでは、日教組の加藤中央執行委員長が、「安倍政権は、戦後の民主教育を担ってきた日教組を名指して非難し、教育再生の名のもと、教育改革を押し進めてきた。真に子どもたち一人ひとりを大切に、教育実践を全国で貫徹していけるかどうか、民主教育を守るか、子どもたちを守るか、私たちがどれだけの結集力をもってこの選挙をたたかえるのかにかかっている。当



団結がんばろう！で会は締めくくられた。(6月22日、ラッセホールで)

選を勝ち取るだ



森永連合兵庫会長代理

また、連合兵庫の森永会長代理は、「民主党政権時は、働く者、生活者を大切にする政策に重点がおかれていた。しかし現在は、儲けさえずればよいといった弱肉強食の社会へ、教育についても学力至上主義へと傾きつつあり、右傾的発言も増えてきている。働く者、生活者を基軸とした政治に、バランスを戻す必要がある。この選挙の持つ意

2013・2014年度、2年間の運動方針を意思統一  
『Edulfare(教育福祉)社会』の構築にむけ  
協方・協働の職場づくりを原点に、組織の強化・拡大を

味をしつかり考え、私たちは組織力を結集し、やりたいうことが何でもできる政権にさせてはいけません」と話した。



可決決定された。続いて、承認事項も絶対多数で承認された。



た活動の推進と日教組や連合に結集する仲間をはじめ、保護者・国民・地域の方々の連携、決定された方針にもとづく力強い運動の展開が宣言され、泉執

川原書記長は、経過報告の中で、第8号議案春季対果給与確定闘争妥結についてもふれ、会計報告、監査報告と一括承認された後、運動方針案が提起された。支部・専門部からは、高

校の通学区域改編に関わる課題、「共に生き共に学ぶ」学校づくり、意見書採択のとりくみ、幼児教育現場の現状、「つながり」ですすめる加入拡大や運動の成果などが討論された。いずれの協議事項も、満場一致で

三原支部の大会宣言を読み上げ、厳しい時代状況だからこそ、「職場に組合を」を合言葉に分会を基礎とし

がある。選挙後には、安倍首相は憲法改正を一方的に押し進める恐れがある。教育者である私たちが自らのたかいかいであり、仕事へのプライド、子どもの未来をかけたたたかいかいである。選挙について、「単」というとりくみの中で一つに、推せん候補者を当選させるだけの選挙ではない。憲法改悪をすすめるに、教育や日教組が、政治に背を向けた歴史の傍観者であってはならない。一人ひとりが、最後までとりくむ

## 檄

誰の戦いでもない、私たち自身の戦いだ！

第23回参議院選挙が告示された。昨年の総選挙による自民党の圧勝後、日本社会は確実に危険な道を歩みだした。安倍首相の、戦後民主主義を否定する考えや歴史認識、憲法改悪の動きは、多くの政治家の暴言、巷にはびこる「ヘイトスピーチ」を生み、国際社会から厳しく指弾されている。安倍政権は、選挙後間もなく教育に介入してくる。今こそ、私たちの民主教育を守ろうという意思を結集しなければならぬ時だ。今回の参議院選挙は、教育の自由が奪われ、格差と偏狭なナショナリズムが覆う社会への道を歩むのか、それとも「平和・人権・環境・共生」の理念に基づく新たな21世紀の社会をめざす道筋に戻すのか問われる極めて重要な選挙だ。私たち自身のとりくみが問われている。政治に背をむけ、歴史の傍観者であることは許されない。「教え子を戦場に送った」痛恨の思いが、脈々と運動の体内に流れているからだ。21日の投票日まで、総力を挙げてこの思いを組合員一人ひとりに伝え、家族・親戚・知人・友人の共感を得よう。明日の子どもたちのために！私たちの存在意義をかけて！

2013年7月4日

日本教職員組合 中央執行委員長 加藤 良 輔

習得も活用し、「いっしょにか」必ず投票を

7月8日、兵教組本部に激励に来られた日教組の加藤中央執行委員長は、第23回参議院選挙について、「単に、推せん候補者を当選させるだけの選挙ではない。憲法改悪をすすめるに、教育や日教組が、政治に背を向けた歴史の傍観者であってはならない。一人ひとりが、最後までとりくむ

ハチ

宍粟市千種中学校 一年 徳久阪 一健

今日を生きて明日を生きるため  
仲間に殺されたって  
飛び飛び続ける  
今日を生きて明日を生きるために



「花」 豊岡市豊岡南中学校 二年 宮前 姫奈

教職員共済生協の

## 新・終身共済

月払型

終身生命共済

まずは一生涯続く  
キホンの保障に入っておこう

死亡・高度障害を一生涯にわたって保障。解約時には解約返戻金が支払われます。

加入時の掛金が、払込終了(60歳)まで続くので、若いうちに加入するほど月々の負担が軽くてすみます。

ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください。

教職員共済生活協同組合 兵庫県事業所

〒650-0004 神戸市中央区中山手通4丁目10-8 ラッセホール4F

資料のご請求等は

教職員共済

検索

http://www.kyousyokuin.or.jp/ 電話(078)221-9730 FAX(078)221-1199

承12-56-03(1302)

# 「みつめる 語り合う つながる」で 人権教育の実践の語り継ぎを

## つないでいこう！ 同和・人権教育学習会



6月8日、15日、29日の3日間、県内9会場で開催された「同和・人権教育学習会」が、約500人が参加した。会の冒頭、「教育の重要性は認識しているものの、その実践については困難がともなっている」ということだ。その理由として、「地区がない」「教材研究や準備の時間がない」「教材・資料が不足している」などがあげられている。

また、「世代間で、意識や実践に大きな違いがある」とも指摘された。「とくにむづかしい」といわれるのが、「どの世代も大きな理由だが、「間違っていたことをやり直しはしないか」と不安」という理由が、50代13・7%に達している。若い教職員の多くは、同和・人権教育をすすめることに不安をもっていることがわかる。「部落差別をはじめとして知らなかった」という問いでは、「学校の授業」が50%を超える結果がでており、その時期は、「小学校」54・3%、「中学校」26・1%、合わせて80%を超える。

現場で同和教育が衰退しているのでは、「教職員の意識が低下しているのでは」という懸念のもと、2008年「人権教育実態調査」、2009年「同和・人権教育に関する教員の意識アンケート」が実施された経緯とその結果が報告された。調査から見てきたことは、「同和・人権教育の重要性は認識しているもの」が語られた。

開会行事に続き、兵庫教育文化研究所・人権教育部会協力研究所員の五百住満さん(関西学院大学)、富田稔さん(天理大学)、森美さん(大阪教育大学)をコーディネーターに、小学校2木村直人さん(宝塚)、坂本研二さん(津名)、阪本善行さん(美方)、橋本一郎さん(加印)、細田哲子さん(水上)、森田裕子さん(川西)、中学校2今西宣幸さん(三美)、尾崎明子さん(美方)、中井良寿さん(豊岡)、山本孝一さん(多紀)から学校現場での実践が報告された。

グループ討議での意見交換は、子どもたちにどう教えるのか不安に感じていた若い教員にとって、教育の方向性やとりくみのまなざしなどが見える有意義なものとなった。また、世代間により同和教育についての意識の違いなどが浮き彫りとなり、「同和・人権教育」の継承の必要性を再確認するとともに、いっそうの努力を決意する実り多き学習会となった。

全会場より報告の内容や感想などを抜粋して掲載し、今後紙面に紹介していく。

美方支部・浜坂中尾崎明子さん報告より

人権・同和学習と「ひと一人権」を「一年間」と「三年間」をつなぐ人権・同和学習をすすめる基本姿勢として、当事者意識を持つことが必要だ。「私」が受けた差別を、「私」たちが受けたと認識することが必要であり、自分が受けた差別への憤りを「世のため人のため 自分のため」と差別解消にむけて動くエネルギーとした。

この世の中で「いかに人間らしく生きるか」という学びは、自分の醜さと向き合う緊張感と苦しみを伴う過程であり、「本来はこうありたい」という葛藤で悩み苦しむことは、人間に存する尊厳である。自分と社会を変える有為の人間を育成することが、人権学習の目標である。

「道徳授業や「人権教育」の充実、学力の向上にもつながる。実際に、規範意識やマナーの意識の高さと学力との相関関係は、各種調査でもあきらかだ。しかし、人権教育のねらいは、人づくりの基盤を築き、人間らしい人間を育成することにある。また、人権尊重の理念が文化として根付いた「共生社会」をめざしており、その一歩は人と人が多様な意見を交わすことから始まる。さまざまな形で現れる差別は、見えないところで繋がっている。だからこそ、一部の問題ではなく、社会全体の問題として捉えることが必須となる。「それって差別じゃない?」と指摘できた時、初めて世の中を変える人権教育となる。



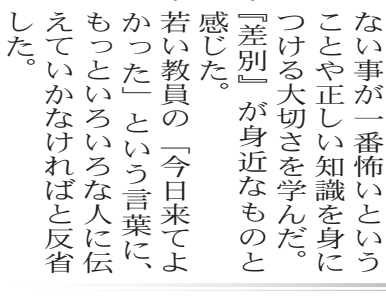
(頒価 各500円)

兵庫教育文化研究所は、教職員の世代交代が進行する中、先輩たちが築き上げてきた運動の成果や実践を語り継ぐとくみに力を入れている。その一つが「ぶれない人権教育の創造」である。

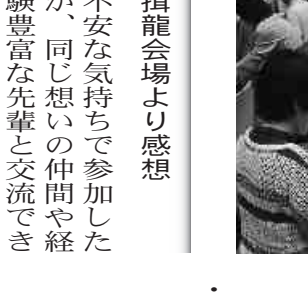
また、同和・人権教育の成果や財産を若い世代に語り継いでいくために、同和・人権教育ブックレット『つなぐ語りつづける』の編集をすすめる第I集・第II集を発売している。さらに、このブックレットを読み生かすとりくみとして、昨年6月、同和・人権教育学習会を3会場で開催。このとりくみを広げるため、2013年度より2年計画で、約1,200あるすべての分会の代表者が学習会に参加できるよう開催を計画し、実施する。



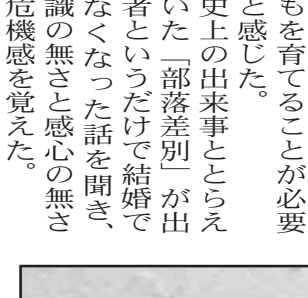
・地域学習が人権学習につながるのとくみでいたが、校区の実態や子どものかかわりなど、根本



的な知識がないままに授業をしていたと気づかされた。教材研究をせずに人権教育をおこなうことの恐ろしさを知った。



同和問題について、知らない事が一番怖いということや正しい知識を身につける大切さを学んだ。「差別」が身近なものと感じた。



不安な気持ちで参加したが、同じ想いの仲間や経験豊富な先輩と交流でき

# 2013 Beer Festa

## 90分食べ放題、飲み放題!!

8月1日・2日 時間無制限

料金 前売 ¥3,000 当日 ¥3,800

営業時間 17時~21時(最終受付20時)

場所 1F レストランリビエラ

制限時間 90分(30分延長につき¥500)

料理 創作料理(和洋中)

ドリンク キリン一番絞り生ビール/黒生ビール/耐ハイ/赤白ワイン/焼酎/ウイスキー/ウーロン茶/オレンジジュース

10名様で1名様無料! (ご予約のみ)

ビールフェスタ 2013 7月1日(月)~9月27日(金)

日曜日・祝日・お盆期間(8月12日~17日)はご利用できません。

〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-10-8 ☎078-291-1117(代表) FAX.078-291-0333 E-mail info@lassehall.com

●神戸市営地下鉄泉元前駅より徒歩5分 ●JR、阪急、阪神、地下鉄三宮駅より徒歩15分 ●山陽新幹線神戸駅より徒歩5分 ●JR、阪神元町駅より徒歩8分 ●高花駅より徒歩15分